

令和2年1月

普及活動報告

～近畿地域農業青年会議でプロジェクト発表～京都丹波農業青年クラブ

(14日)



発表に関する質問に答える谷村氏

京都丹波農業青年クラブの会員である谷村岳志氏(亀岡市)が、「営業力を活かし若手農家が稼げる仕組み作り」と題して発表しました。若手農家が主役となって農業関連産業の「生態系」を亀岡市に産み出し、若手農家が収益を上げる概要について発表しました。結果は、惜しくも入賞を逃したものの、仲間からの応援を受けて堂々とした発表となりました。

発表した谷村氏からは、「これまでのプロジェクト活動によって経営課題が明確になり、今後活かしていきます」など前向きな発言がありました。普及センターは今後も、青年クラブ活動や個別の経営指導を通じて農業青年の資質向上と自主的な活動を支援します。

場 所 和歌山県JAビル

出席者数 140名

京都丹波農業青年クラブ 会員27名

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年1月

普及活動報告

～若手農業者研修を開催～ 亀岡市地域 農業生産協議会担い手部会

(亀岡市：15日)



草刈機の講習

トラクターと草刈機の操作の注意点やメンテナンスの方法について、実際に機械を見ながら説明を受け、質疑応答が行われました。

「草刈機用の混合燃料は混ぜた時から劣化し故障の原因となるので、残りを入れたままにしない」「道交法改正により、アタッチメントをつけたまま走行できるようになった」等、基本的な注意事項から最新の情報まで得ることができ、安全使用や機械を調子よく動かして長持ちさせる方法を学びました。

普及センターは、引き続き関係機関とともに新規就農者のほ場巡回を行い、栽培及び経営を支援していきます。



トラクターの講習

場 所 JA京都中部支店

参加者数 34名

亀岡市では、新規就農者約70名（研修中含む）を対象に若手農業者研修会を年に数回開催しています

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年1月

普及活動報告



せりの様子を見学



市場担当者と荷姿を見ながら情報交換

～特産シュンギクの生産振興に向けて～ 園部シュンギク生産者が市場視察研修を 実施 (南丹市：28日)

朝6時からせりの見学を行った後、各産地の荷姿や品質を確認し、また市場の担当者から入荷量、価格の動向について話を聞き、情報交換を行いました。

参加者は、園部産シュンギクに対する強い増産要望を目の当たりにするとともに、今後も他産地に負けない品質の維持が求められるという説明に聞き入っていました。普及センターは、今後も技術の向上を中心に支援していきます。

場 所 京都市中央卸売市場

出席者数 10名

南丹市園部町 シュンギク生産者：約40名

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年1月

普及活動報告



改善技術の方向性について意見交換



試作アプリケーションの実演

黒大豆実証成果意見交換会を開催 ～実証技術の今後の取組方向を確認～ (全域：29日)

極端な気象条件にも耐える栽培体系づくりに取り組んだ実証ほについて、収量が明らかになったこの時期に、担当生産者の技術評価や今後の方向性について話し合いました。また、得られた知見をもとに、作業の実施日や雑草発生状況により、次の土寄せ作業や生育期除草剤処理をいつ行うべきかを提示する試作アプリケーション(Excel)を紹介しました。

「早播きは規模拡大、作業分散に有効」
「土寄せは回数よりも土の条件が重要」
「試作アプリケーションは使ってみたい」
などの意見が出され、次年度の取組方向についても概ね了解が得られました。今後、実証技術の内容を組み立て、担当生産者に提案していく予定です。

場 所 園部総合庁舎
参加者数 14名

令和元年度 南丹管内黒大豆栽培面積 112ha

京都府南丹農業改良普及センター